

# 進捗報告書（実行団体）

|         |                       |
|---------|-----------------------|
| 事業名:    | 多文化共生のまちづくりに向けての第一歩   |
| 資金分配団体: | 公益財団法人東近江三方よし基金       |
| 実行団体名:  | 特定非営利活動法人 まちづくりネット東近江 |
| 実施時期:   | 2021年5月～2022年3月       |
| 事業対象地域: | 滋賀県                   |
| 事業対象者:  | 東近江市に在勤、在住する外国籍の方     |

Version 1.2

日付: 2021年11月26日

## I. 事業概要

|  |
|--|
| <b>事業概要</b>  |
| 外国籍の方の生活面でのコミュニケーションの課題を克服するため、翻訳ツールを充実し、主要な窓口等に貸し出すことで、医療や福祉を含む現場での課題を解決する。日常生活の中で、多文化共生を実現するため、文化の違いや生活習慣の違い等を認め合える関係を構築する企画を実施する（多文化共生フェスタの開催等）。コロナ禍で経営が厳しい飲食店を支えるため、飲食ブースの充実を図る。普段から顔見知りになれる場や、困りごとを気軽に話せる場をつくるために、多文化共生サロンの開催を行う。日常的なつながりが、災害時や緊急時の助け合いにつなげるようにしていきたい。これらの活動を通じて、今後の活動団体の組織化の方針を決定する。 |

## II. 進捗報告の概要

|  |
|--|
| <b>総括</b>  |
| 多文化共生フェスタやサロンを開催していく中で、これまで以上に外国人の方と話す機会が増えた。来られている国の話を聞いたり、日本のことについてどう思っているかを聞くことができ、今後の多文化共生のまちづくりの参考になるのではないかと思う。やはり、お互いに知り合えたり、言葉が通じなくても、コミュニケーションを図ることが大切だと感じる。もっと外国人の方と交流する機会や話す場が必要だと感じた。 |

## III. 活動実績

| アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）             | 進捗状況  |
|-------------------------------------|---|
| 地域の中で、多文化共生に興味や関心を持つ人が増える。          | 多文化共生フェスタやサロンを開催する中で、地域の現状を話すことが多く、在住外国人の人数などを伝えている。              |
| 多文化共生に関する意識の変化の把握                   | アンケートなどを実施している。   |
| 地域の話し合いの中で、外国籍の方についての話題がでる。         | 多文化共生フェスタの中で、外国人の方に、日本に住んでいて感じることなどを話してもらう機会をつくる。                 |
| 翻訳ツールを使って、外国籍の方とのコミュニケーションを図る人が増える。 | 医療従事者や介護士などが集まる場で、翻訳ツールの使い方や外国籍の方とのコミュニケーションを図り方を伝える場を設けた。        |
| 多文化共生に取り組む組織の方針が決定されている。            | 関係者に集まってもらう機会をつくり、今の現状を話す機会をつくる。その中で、今後、どのような事業を行っていきとよいかなどを検討する。 |

| 活動                             | 進捗状況   | 概要  |
|--------------------------------|--------|---|
| 多文化共生フェスタのボランティア募集             | 計画通り   | 多文化共生フェスタは、ボランティアの方に参加していただき、一緒にフェスタを盛り上げてもらっている。     |
| 多文化共生フェスタの実行委員会での内容を検討         | 計画通り   | 多文化共生フェスタの内容は、実行委員会形式にして、どのように進めていくか、コンテンツの内容などを検討する。 |
| 医療従事者に翻訳ツールを知ってもらう機会を創る        | 計画通り   | 医療従事者に翻訳ツールを知ってもらう機会をつくった。                            |
| 多文化共生フェスタの開催                   | ほぼ計画通り | 計画時は、リアルでの開催を予定していたが、コロナ感染者が増加したため、オンラインでの開催に変更した。    |
| オンライン等で、外国籍の方や日本人も含めて話をする場をつくる | 計画通り   | サロンを開催し、料理教室を行ったり、文化を知る機会をつくる。                        |
| 多文化共生に取り組む組織の設立方針の検討           | ほぼ計画通り | 地域の現状を知り、外国人の支援を行っている方に集まってもらい、今後の事業内容の検討を行う。         |

#### IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

| 自由記述  |  |
|---|--|
| <p>今後、地域で外国人支援のための組織化を考えていく中で、フェスタやサロンで聞いた声や、外国人の方に聞いた話をもとに、どのような事業が必要なのかを整理をして、組織化を考えていきたい。また、継続していくためにも、資金面の課題がかかるので、資金をどのように獲得していくことができるのかも含めて、考えていき、他の団体や事業者とも連携をしながら、多文化共生のまちづくりに向けて動き出している。</p> |  |

#### V. インプット

|      |       | 2020年度  | 2021年度     | 合計         | 執行金額     | 執行率     |
|------|-------|---|------------|------------|----------|---------|
| 事業費  | 直接事業費 | ¥0  | ¥3,000,000 | ¥3,000,000 | ¥576,991 | 19%     |
|      | 管理的経費 | ¥0  | ¥0         | ¥0         | ¥0       | #DIV/0! |
| 合計   |       | ¥0  | ¥3,000,000 | ¥3,000,000 | ¥576,991 | 19%     |
| 補足説明 |       | <p>当初11月に開催予定だった多文化共生フェスタを12月に延期したことにより、執行率が低下している。</p> |            |            |          |         |

#### VI. 事業上の課題

| 事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応  |
|--|
| <p>コロナ禍の中で、リアルに出会うサロンは、何度か日程を変更をしながら、開催することができた。しかしながら、不特定多数の方が集まるフェスタに関しては、コロナ感染者が増加傾向にあったので、リアルでの開催をあきらめ、オンラインでの開催に変更した。</p> |

#### VII. その他

| 自由記述  |
|---|
| <p>多文化共生のまちづくりに向けて動き出しているが、多くの方の支援がないと難しいことが多い。どんなことができるのか、必要なことはいろいろとわかってきているが、優先順位などを考えていく必要がある。しかし、支援する側の人員やスキル、資金が不足していることが大きな今後の課題となる。</p> |

#### VIII. 広報実績

| 広報内容                      | 有無 | 内容                         |
|---------------------------|----|----------------------------|
| メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等） | 無  |                            |
| 広報制作物等                    | 有  | 多文化共生サロンのチラシ、多文化共生フェスタのチラシ |
| 報告書等                      | 無  |                            |

#### IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

| ガバナンス・コンプライアンス体制                    | 状況 | 内容 |
|-------------------------------------|----|----|
| 1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。 | はい |    |
| 2. 内部通報制度は整備されていますか。                | はい |    |